

鷗川高野球部の 仮設生徒寮

鷗川高野球部の仮設寮として使用されていた
モバイルハウス



サテライトハウスで活用へ

むかわ町は2021年
度、胆振東部地震で被災
した鷗川高校野球部が使
っていた仮設生徒寮の一
部を再利用し、穂別地区
にサテライトオフィスを
整備する。

仮設の生徒寮は、2年
半前の震災で野球部の寮
が損壊したため、移動可
能なモバイルハウスをつ
なぎ合わせて寮にしてい
た。3棟(床面積約89・
8平方メートル)を再利用し、
サテライトオフィスを設
置する。

町は、新型コロナウイ
ルス感染拡大の影響から
みており、サテライトオ
フィスと併せて整備を進
める。町総務企画課は「地
震があったことを忘れて
はいけないという思いも
込めて、建物を残してい
きたかった」とし、「震
災復興のレガシーになれ
ば」と期待する。

「ワーケーション」などの利用想定

都市部で働き方の見直し
が進んでいる傾向を踏ま
え、サテライトオフィス
やワーク(仕事)とパケ
ーション(休暇)を組み
合わせた「ワーケーショ
ン」などの利用を想定。
4月には着工し、7月ご
ろの完成を予定してい
る。

町は21年度の繰り越し
事業として、移設、改修
費用を含めた20年度一般
会計補正予算で2050
万円を計上。このうち1
760万円を地方創生臨
時交付金で充てる。

町は感染症対策で、仮
設寮の7棟を役場本庁舎
の多目的スペースとして
整備することもすでに決